

の出来事を豪華な配役で描いた大作で、いまや八月十五日の記念碑として一見に値する。そして、

「東京裁判」(小林正樹監督・83年)は一九四八年に東京で行われた日本の戦犯裁判を後年入手できたアメリカ側の記録を加えて描いた四時間三十分。戦争はイヤだなア。

### 一億総動員体制



中嶋嶺雄  
昭和三十二年  
昭和三十二年

国民学校(小学校)三年生のときに終戦を迎えた私は、典型的な「墨塗り世代」(敗戦直後にそれまで使っていた教科書の戦争を鼓吹する部分を教室で墨で塗りつぶして使った世代)なのだ、幼少期とはいえず、戦争の記憶は様々なかたちではっきり残っている。

①奉安殿——小学校の入り口には、二宮尊徳(金次郎)の銅像の脇に石で造った奉安殿があって、必ず脱帽し一礼して登校した。中には天皇陛下、皇后陛下の御真影と教育勅語が奉ってあったのだと思う。生徒に勉強への励みと緊張感を与えた。

兵隊宿  
昭和二十四年までずっと広島市に住んでいた。軍都であり、宇品港を開いているので、ここから乗船して戦地に向かう兵士も多かった。日中戦争の頃には、乗船待ちの兵士を、あまり遠くない民家に分宿させる場合があった。隣組長からの命令通達で幾度も部屋を提供した。食事は出さない。私達家族は、部屋敷を減らされる生活と、軍靴の臭いに慣れるまでがなかなかであった。

赤紙(軍の召集令状)

自分は女だからとは思うものの、いつ、誰に、一銭五厘の赤紙が来て軍隊に召集されるのか分らない不安。徴用を恐れる大人もいた。私自身は昭和十九年の学徒勤労令によって東洋工業や広島陸軍被服支廠、宇品陸軍糧秣支廠などに働いたが、赤紙の恐怖の想像からは容易に解放されなかった。

預貯金封鎖

世帯主は月三百円、家族は一人百円。個人にいくら預貯金があっても払い出しは限られる。あとはすべて封鎖。自由にならない個人財産。昭和二十一年の金融緊急措置令は、「法」の威力の明暗を考えさせずには

てくれた。

②「修身二」——たしかこのタイトルの教科書が記憶に残っている。「修身一」を終えてから学んだのであろう。戦後にはやがて、道徳教育が導入されたけれど、やはり肝腎なのは、生徒一人ひとりの個人の心をととのえる、修身、なのであって、集団的な道徳教育などではない。

③靖国神社博覧会——信州から母に連れられて上京したとき、靖国神社へ行った。境内で博覧会が催されていて、敵機を次々に打ち落とす電光表示が鮮烈な印象に残っている。

④疎開児童——国民学校二、三年生になると東京から疎開児童が次々に入學してきた。田舎の生徒からすればとてもハイカラで羨しかった。皇后陛下が下賜されたビスケットが配給されたことがあったが、疎開児童には一枚ずつ配られたのに、我々は一枚のビスケットを四人で分けて食べた。

⑤満蒙開拓団——長野県からは満蒙開拓団がとくに多かったことを後に知ったが、壮行会での上級生(たしか高等科の生徒)

おかない衝撃の経験になった。

### 時局迎合コンクール

谷沢永一



昭和四十四年

当時の合言葉を思い出す。その中心は、新体制であった。言い替えば、時局、である。その内容は、国家総動員法、統制経済、戦争経済、であり、文化統制、も唱えられた。すべてを引っ括めて人口に膾炙したのが、バスに乗りおくれるな、という標語である。

(一)唐島基智三『戦時体制下の国家総動員法解説』(昭和16年10月10日・清教社)。多くの協力

者を得た共著であるが、総動員法の新旧推移対照のみならず、国家総動員法施行関係勅令その他を網羅し、厚さ四センチに達する資料集。たとえば、玄米ノ重量二対スル搗上り米ノ重量ノ割合ガ農林省令ノ定ムル割合ヲ下ラザル限度ニ於テ米穀ノ搗精ヲ為スベシ、という勅令がある。

(二)谷口吉彦『新体制の理論』(昭和15年11月16日・千倉書房)。新体制は世界的な歴史の必然である、と説く。戦後左翼の揚言と

の勇姿が記憶に残っている。

このようにして実現した一億総動員体制こそ歴史の真実だったのであり、当時の日本国民はいわゆるA級戦犯によって煽動された動員されたものでは決してなかった。

### 「法」の威力を知る



竹西寛子

昭和三十二年

大本堂発表

その内容の如何を問わず、ラジオから流れてくるアナウンサーの声のこの部分には、いつも一瞬息を詰めた。戦争末期になると、軍の悲報と重なる「海行かば」の曲の演奏とともに、「大本堂発表」の声には驅が冷えた。敗戦は十六歳の時である。

音名ハ・ホ・ト

撫草の「チェリイ」が「桜」に、「ゴールデン・パット」が「金鶏」に変わった。女学校へは昭和十七年に入ったが、音楽室の音名は、「ド・ミ・ソ」が「ハ・ホ・ト」に変わった。うたうという実感は薄れていた。

語彙まで同じである。

(三)中山伊知郎『戦争経済の理論』(昭和17年4月20日4刷・日本評論社)。戦時経済体制下にあつては、軍需産業を中心とするところの産業の編成替が平和産業における生産を縮小せしめ、この縮小に応じて平和産業を中心とする国民生活の消費節約が要求せられるのである、と指示する。

(四)吾妻光俊『統制経済の法理論』(昭和19年5月5日・河出書房)。統制法の眼目は、労働力の処分乃至管理についての国家の関与がその一であり、また労働条件の決定についての事業主の一方的決定権とその法的拘束力の承認がその二であり、ここには労働契約の概念の完全に近い追放が見られる、と解する。

(五)奥村喜和男『尊皇攘夷の血戦』(昭和18年2月1日・旺文社)。尊皇攘夷は常に明治維新にのみ妥当なるものではない、悠久三千年の日本歴史を貫く不滅の道統であり、神国日本の存在する限り、将来永遠に亘って不朽の指導原理たるべきものである、と叫ぶ。情報局長としての放送講演論策を収録する。奥村喜和男は昭和十五年、世界に先駆けてか、或いはカナダ等の

# 諸君!

文藝春秋 平成16年 9



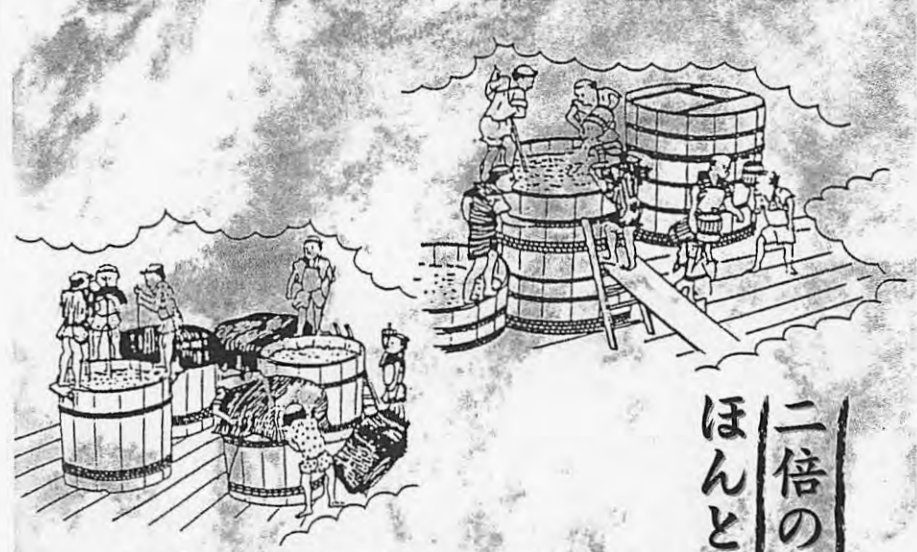
平成16年9月1日発行(毎月1日発行)第36巻第9号  
昭和44年8月2日 第三種郵便物認可

"THE SHOKUN" September 2004 vol.36 No.9 Published Monthly by BUNGEISHUNJU Ltd. Tokyo, JAPAN.

## 諸君!

2004  
9

昭和44年8月2日 第三種郵便物認可  
平成16年9月1日発行(毎月1日発行)第36巻第9号



### 二倍の手間と歳月が、ほんとの醤油をつくり出す。

先祖伝来の二段仕込み法。それは一年間熟成させてしぼった諸味に、麺を加えさらに一年間熟成を待ってその諸味を搾る。味、色合い、香り。

日本の味を大切にしたい、これがほんとの醤油「きぢ醤油」。少量生産のためこのお値段ですが、濃厚でまるやかな濃い口は、きつとご満足いただけます。



醸造元：きぢ醤油合資会社 〒737-0152 広島県呉市仁方本町1丁目2-51 TEL:0823-79-5026 FAX:0823-79-6787

諸君! (第36巻 第9号)

特別定価七六〇円 本体七二四円

特集 **リメンバー! 昭和史の戦争** 民主党に眞紀子は似合わない  
阿川弘之・十半藤一利 / 福田和也かほ

特集 **リメンバー! 昭和史の戦争** 似合わない  
阿川弘之・十半藤一利 / 伊藤桂一かほ

山下奉文 昭和の悲劇 福田和也百枝

永田町の戦争と平和 中曾根康弘・塩川正十郎・古賀誠  
私は横領などしていない 誰だ「北」の手先は 佐藤勝巳

政権までに、あと何歩?

民主党に眞紀子は似合わない  
枝野幸男・前原誠司司 司宮崎哲弥  
「反自民」ではダメ、「脱自民」を 櫻井よしこ  
遠藤浩一

